

## ◆四国管内地域包括ケア等推進関係省庁連絡会に参加



### 【連絡会：構成員】

総務省	四国総合通信局
法務省	高松矯正管区
法務省	四国地方更生保護委員会
農林水産省	中国四国農政局
厚生労働省	香川労働局
経済産業省	四国経済産業局
国土交通省	四国地方整備局
国土交通省	四国運輸局



厚生労働省四国厚生支局主催の「四国管内地域包括ケアシステム等推進関係省庁連絡会」に参加しました。地域包括ケアシステムとは、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制の構築の実現を目指す制度です。

矯正施設（刑務所など）と高齢者の地域生活に関するものがあるのかと感じられる方もおられると思いますが、近年の刑務所収容受刑者における高齢者（65歳以上）は増加傾向にあります。また、高齢受刑者の中には認知機能の問題や介護が必要な者もあり、出所後の就労や安定した地域生活に移行することが困難であることも少なくありません。

高齢受刑者という支援対象者の存在を関係省庁の皆さんにぜひ知っていただき、連携を深めていきたい分野であると考えています。

（9月15日開催）

## ◆高松商業高校で法教育等を実施



香川県立高松商業高校書道部24名の皆さんに法教育（再犯防止）と採用広報を行う機会をいただきました。

刑務官を知っている生徒の方もおり、今回の話から高校生が考える再犯防止を書道パフォーマンスで表現していただくことも考えています。

## ◆四国地方自立準備ホーム研修会開催



日本自立準備ホーム協議会（高坂朝人理事長）による四国初の研修会が開催されるとの情報を得て参加してきました。四国各地で自立準備ホームの運営やスタッフとして関わっておられる方から、地域における福祉支援の差異や支援方法に関する意見交換など、実務者による貴重なお話しに触れる機会となりました。再犯防止の促進には「居場所」の確保は欠かせません。民間活力の力強さに脱帽です。

（8月27日開催）